

「癌」食べて治せ NO.8

ゴマ油の酸化防止作用が有効

大沢俊彦
名古屋大学農学部教授

「癌」の予防は、第一に食生活、次いで「丹羽SOD様食品」

酸素は、私たちに必要不可欠なものです。しかし、酸素から過剰な活性酸素ができると、その酸化作用で細胞の膜や核を傷つけます。その結果、動脈硬化や糖尿病、癌など老年病を引き起こします。

癌を引き起こす主因といわれる活性酸素への対策は、先ず日常の食生活に注意することが先決です。本シリーズでは、食生活から見た「癌予防」のポイントについて掲載します。しかし、食事だけでは、癌を予防できないことも事実です。そこで、増加する活性酸素対策（癌予防対策）に、「丹羽SOD様作用食品」を摂取するの一方策です。

Q:ゴマ油は酸化しにくいいため、多くの用途に利用されていますが、癌抑制作用もあるのですか？

A:「ゴマ」は、古くから知られる健康食品。成分の半分以上は脂肪で、そのほとんどが血管にコレステロールが沈着するのを防ぐリノール酸やオレイン酸で占められている。

ところで、ゴマ油は、極めて酸化しにくいのをご存じだろうか。リノール酸は大豆油や菜種油にも含まれているが、こういう油は、繰り返し使うと、すぐに酸化して臭くなる。ところが、**ゴマ油は酸化しにくく、さし油をすれば、いつまでもおいしく食べ**

日本SOD研究会がおとどける

**健康増進と病気の
老化予防のQ&A**

No. 20



このQ&Aは、病気の90%に関するといわれる活性酸素、活性酸素を除去する丹羽SOD様食品など、さまざまな症状や疾患について、最新の情報を掲載しています。定期的に発行されていますので、毎号お集めになりますと、健康管理ノートができます。このQ&Aは、最寄りの丹羽SOD様食品取扱店でお求めになれます。

られる。そこで、調理だけではなく、化粧品や医薬品の酸化防止にも使われている。実は、ここに癌の予防に効果がある食品としての可能性が秘められているのだ。
大沢教授は、食品による老化や癌の予防について長年研究を続けている

目次

- ゴマ油の有効性は？
- ゴマ油の癌抑制成分とは？
- セサミノールとは？
- セサミノールの動物実験
- 毎日の「ゴマ」摂取量は？

SOD製剤による臨床報告
腹水が消失、社会復帰

る。ここで、重視されているのが抗酸化物質、つまり酸化を防ぐ物質なのである。

活性酸素による酸化が危険

「酸素は、動物物に必要不可欠なものです。しかし、酸素から、過剰な活性酸素がでると、細胞や遺伝子が次々と酸化による障害を受け、最終的に癌や老化をはじめとする老年病の原因になっていくのです。」

活性酸素は極めて不安定な酸素で、常に何かと手を組んで(=酸化)安定した形になるうとしている。

本来、ウイルス退治やエネルギーの産生など体内で大事な働きをしているのだが、問題は過剰になったときだ。

体の中でさまざまな成分を次々に酸化し、細胞の膜や核を傷つける。その結果、動脈硬化や糖尿病、癌など老年病を引き起

こすとされている。

癌では、とくに遺伝子への攻撃が、癌化の引き金になる。もちろん、体には活性酸素の攻撃を防ぐために酸化を防ぐ物質(=SOD)が存在するが、年を取るにつれて細胞も酸化しやすくなっていく。

Q:ゴマ油の中のどのような成分が癌の抑制に有効なのでしょう？

A:そこで、癌をはじめ老化を防ぐ手段として、大沢教授は活性酸素の害を防ぐ抗酸化物質の研究を始めたのである。

「ゴマ」も、その中のひとつだった。抗酸化物質というとビタミンEが有名だが、ゴマに含まれるビタミンEは決して多くない。それなのに、なぜ、ゴマ油は酸化しにくいのか。

研究の結果、ゴマ油の精製過程でセサミノールという物質が大量にできることが分かった。ゴマ油には、独特の香りをもつ焙煎油とゴマをすって精製する無色無臭のゴマサラダ油(太白油、白絞油)がある。

このゴマサラダ油の精製過程で、

セサミノールという物質が大量にできる。これが、強力に酸化を抑えるのだ。



Q:ゴマ油から、どのような過程を経て、酸化防止作用(活性酸素をくい止める)があるセサミノールができるのですか？

A:太白油や白絞油(無色無臭のゴマサラダ油)は、精製の過程でセサミノールという強力な酸化抑制物質を持つことが分かってきた。ところが、これは何もゴマサラダ油に限ったことではなかったのである。

「ゴマ」には、もともとセサミノール配糖体と呼ばれる物質が含まれている。これ自体は、活性酸素によって細胞が傷つけられるのをくい止めるような力はない。しかし、人間の体はうまくできていて、「ゴマ」

を食べると、腸内細菌がセサミノール配糖体を切断して、セサミノールをつくっていたのである。つまり、「ゴマ」を食べれば、セサミノールが体内でできるのだ。

活性酸素による酸化が危険

活性酸素は遺伝子を傷つけ、癌の芽をつくとされている。

一方、体には傷ついた遺伝子を修復する仕組みも備わっている。例えば、遺伝子が酸化されて傷つくと、その部分はトカゲのシツポのように切り捨てられて、正しく修復される。切り捨てられた遺伝子は、最終的に尿の中に出てくる。

従って、尿に含まれる遺伝子の最終物質(8・ヒドロキシデオキシグアノシン)を測定すれば、どの程度遺伝子が傷つけられているかを推定することができる。

Q：強力な酸化防止作用があるというセサミノールは、実際の動物実験では、どのような結果が得られたのですか？

A：これを突き止めた大沢教授は、セサミノールが実際に活性酸素によって遺伝子が傷つけられるのを防ぐかどうかを実験した。

実験方法：ラットに肝臓の細胞を酸化して傷つける物質とセサミノールを与えた。

実験結果：肝臓を酸化して傷つける酸化物質だけを与えた群れに比べて、セサミノールと一緒に与えた群れは、尿中の遺伝子の量が明らかに低下していた。酸化物質を与えないときに近い状態まで低下していた。

ということは、セサミノールが酸化により傷つけられる遺伝子を守ったと考えられる。「この結果から、おそらくセサミノールは、癌の芽ができる過程（イニシエーション過程）を抑えるのではないかと大沢教授はみている。

Q：活性酸素の弊害を防ぐためには、毎日、どの程度の「ゴマ」を

摂れば良いのですか？

A：こうした「ゴマ」の癌予防効果を、日常で生かすためには、「毎日少しずつ食べるのがいい」という。

活性酸素は、発癌物質や紫外線、放射能などによって、いつも体の中でできている。従って、酸化を予防する食品も毎日少しずつ取る必要があるのだ。

「ゴマ」の場合は、「そのままでは消化吸収しにくいので、しっかりと練って毎日、5〜10gぐらい取る」ことを大沢教授は勧めている。年をとると、細胞が若い人の何倍も酸化しやすくなるが、それもセサミノールである程度抑えられるのである。

一口ゴマ

セサミノールの酸化作用は薬の10倍、動脈硬化にも大きな効果

大沢教授は、セサミノールが動脈硬化を防ぐ作用も見つけている。動

脈硬化は、いわゆる悪玉コレステロールの酸化がきっかけに起こる。セサミノールは、この悪玉コレステロールの酸化を特に強力に抑える。その酸化作用は、高脂血症治療薬に比較しても、10倍も高いという。



本文は、「癌」食べて治せ（日刊スポーツ・No.21）から、抜粋・引用しました。

バックナンバーについて
日本SOD研究会では、これまで発行した「Q&A」のバックナンバーを用意しています。様々な疾患と活性酸素の関係について掲載しています。
ご希望の方は、最寄りの取扱店または、日本SOD研究会（〇四九二（五五）八七二八FAX兼用）までご連絡ください。



命と健康のために SODロイヤル

SODロイヤル(丹羽SOD様食品)は、丹羽博士が長年をかけて開発した、天然の植物・種子を素材にした天然製剤で、副作用などの心配は皆無の健康食品です。

国際製法特許取得

SOD製剤による臨床報告

本症例はすべて、丹羽博士が院長を務める土佐清水病院での、末期癌を含めた重症の癌患者の症例です。博士が長年かけて研究開発した**天然SOD製剤BG104**および**天然低分子抗酸化剤(SOD様作用食品)**を治療の主体とした症例を掲載しています。小誌の掲載内容は、丹羽博士の著書「天然SOD製剤がガン治療に革命を起こす」から、抜粋・引用しました。治療の詳細を知りたい方は同書を参考にしてください。

吐血、下血、静脈瘤、

腹水が消失。会社勤めへ

O・T 52歳 男性 C型肝炎による肝癌
肝硬変から移行した肝癌

【現症ならびに来院時所見】

四年前よりC型肝炎、肝硬変、肝癌の診断を受け、肝臓の肝癌摘出手術を一度行い、食道静脈瘤の硬化療法を四度受け、もうこれ以上硬化療法は行えないと言われていた。

吐血、下血が続き、顔色不良で、怒張した食道静脈瘤が多数見られ、腹水も認められていた。

検査所見では、四型コラーゲン12~15ng/ml、LDH1081U/l。

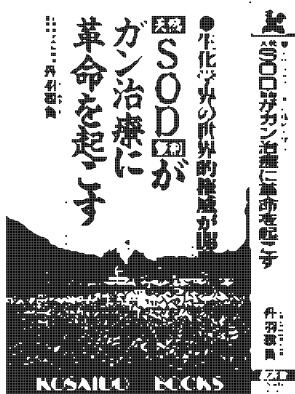
BG104と低分子抗酸化剤(SOD様作用食品)を所定の量(省略)投与し、経過を観察した。

【臨床経過】

SOD様作用食品とBG104が著効し、LDHは急速に低下、正常化し、吐血、下血は勿論、腹水も消失し、現在一年半を経過しているが、健康人と変わらず会社に勤務している。

【考察と結論】

本患者は、当院の腹部CTで肝癌を確認していないが、LDHも高く、肝癌特有の顔色不良の顔貌も強く、もうこれ以上硬化療法が出来ないほど肝硬変も悪化し、食道静脈瘤も頻発していたが、私の治療で劇的に改善され、腹水も消失し、顔色も良くなり、あれほど頻発していた静脈瘤も再発が見られなくなり、これは私の開発した低分子抗酸化剤(SOD様作用食品)とBG104が著効した症例といえる。



[当商品には合成着色料・合成保存料は使用していません]

丹羽博士が長年をかけて研究・開発し、多くの学会や研究機関で臨床成績が確認されているSODロイヤル(丹羽SOD様食品)を始めとする、活性酸素を除去するルイボスTX、スーパールイボスティ、SODクリームなどは、下記の取扱店でお求めになれます。

お問い合わせ先

製造・発売元
株式会社フジ流通システム
埼玉県富士見市鶴馬3489-1